

MRI 検査機器紹介



PHILIPS Intera Achieva 1.5T



SIEMENS MAGNETOM Avanto 1.5T

MRI 検査室の特色と取り組み

当院は救急医療体制が整っており、救急疾患における検査などを通して、知識、技術を備えた診療放射線技師が検査に携わっております。

MRI 検査機器は 1.5T（テスラ）装置が 2 台あり、2 台で 1 日平均 45 件程の検査を行っています。

患者さんとのコミュニケーションを重視し、安全かつ患者さんの負担が少ない良質な検査が行えるよう日々、努力しております。

検査について

検査時間は単純検査でおよそ 20 分、造影検査は 30 分から 40 分くらいです。

特殊な検査は検査時間が長くなることがあります。

ルーチン検査以外のシーケンス追加や特殊な検査も、ご連絡があれば対応いたします。

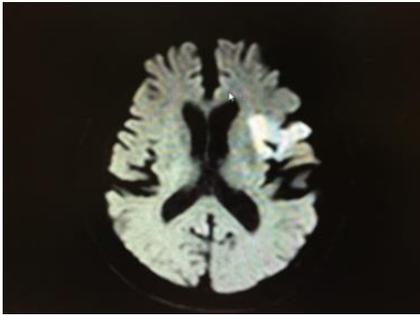
ただし、装置の性能上、出来ない検査もあります。検査についてご不明な点などあれば、MRI 検査担当技師にご相談ください。できるだけご依頼される先生のニーズに答えられるよう検査を行っています。

検査における注意事項

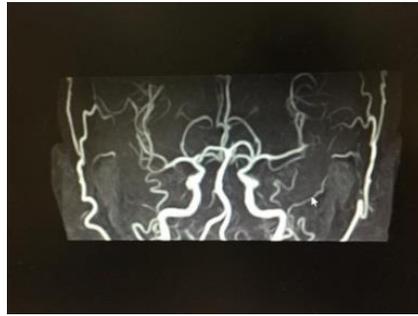
- 検査依頼時は、患者さんの MRI 検査禁忌事項や体内金属のチェックをお願いします。（※書面は不要）
- 条件付き MRI 対応デバイス（ペースメーカー、ICD）装着の患者さんが、MRI 検査を受けられる場合は、先に当院循環器外来を予約受診していただき、それから MRI 検査日時を循環器外来にて予約していただく流れとなっております。
- 造影検査を予約される場合は、腎機能のデータ（eGFR またはクレアチニン）を診療情報提供書と共に添付して頂きますよう、ご協力をお願いします。
- 造影検査の場合は、検査当日患者さんに同意書を記入していただきます。（当院放射線科医師が説明を行います。）喘息や過去に MRI 造影剤アレルギーのあった患者さんなどは、やむなく単純検査に変更する場合がありますのでご了承ください。

画像の例

頭部領域



拡散強調画像（急性期脳梗塞）

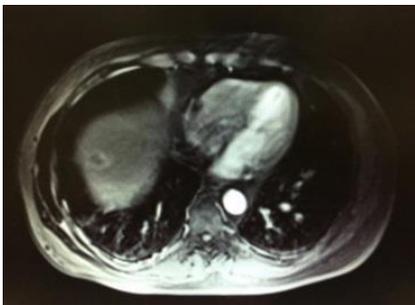


MRA（MIP 画像）



T1 強調冠状断像（海馬萎縮）

腹部領域



Gd-EOB 動脈相（肝腫瘍）



Gd-EOB 肝細胞相（20 分後）



MRCP（MIP 画像）